

関東教育学会

The Kanto Educational Research Society

第71回大会プログラム

2023年11月18日(土)

関東学院大学 金沢八景キャンパス

関東教育学会第71回大会準備委員会

□ 参加要項

- 1 会期 2023 年 11 月 18 日(土)
- 2 受付 午前 9 時 30 分開始
関東学院大学 金沢文庫キャンパス 3 号館 2 階
※受付にて、本大会に協賛いただいた出版社の書籍を販売いたしております。
- 3 発表要綱 発表 20 分 質疑応答 5 分
(発表に対する全体討論は、発表終了後におこないます。)
- 4 参加費 会員 3,000 円
学生会員 1,500 円
臨時会員 3,000 円
※公開シンポジウムのための参加は無料
- 5 昼食 当日は 3 号館 1 階の食堂「ローズ」が営業いたしております。
※営業時間 11:00～13:00 麺類は閉店 30 分前で終了
なお、金沢八景駅周辺にはコンビニエンスストアやベーカリー等もございます。
- 6 懇親会 3号館1階の食堂で開催を予定しております。
本学会においては久方振りの懇親会になります。会員の皆様とのさらなる親交を深めたく、是非ともご参加いただけますと幸いです。
会員 5,000 円
学生会員 3,000 円
- 7 事務局 〒236-0037
神奈川県横浜市金沢区六浦東 1 丁目 50-1
関東学院大学久保田英助研究室内
関東教育学会第 71 回大会準備委員会事務局
E-mail: kantokyouiku71@gmail.com(大会専用)

委員長 久保田 英助 (関東学院大学社会学部)
副委員長 佐藤 幸也 (関東学院大学理工学部)
委員 大崎 裕子 (関東学院大学教育学部)
呉 世蓮 (関東学院大学国際文化学部)
藤根 雅之 (関東学院大学社会学部)

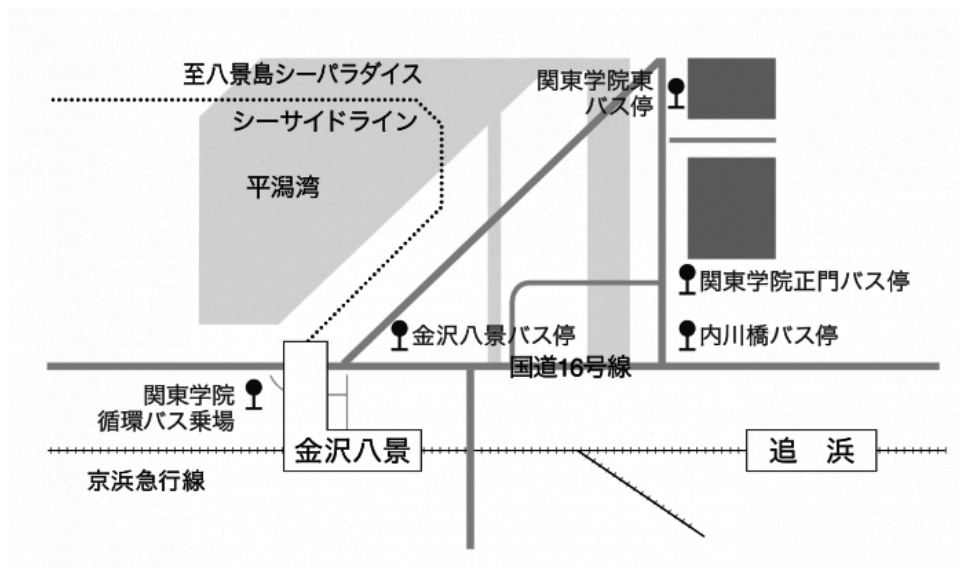
□ 大会日程

9:30	10:00-12:00	12:00-13:10	13:10-14:00	14:10-17:00	17:20-19:20
受付	自由研究発表	昼休み	総会	シンポジウム	懇親会
3号館2階	3号館2, 3階		3号館2階	3号館2階	3号館1階
受付 201 前	発表会場 第1会場 202 第2会場 302 第3会場 303	理事会 12:10-13:00 206 シンポ打ち合わせ 12:10-13:10 303	総会 201	シンポジウム 201	1階「ローズ」
大会本部 206	会員控室 207	会員控室 207			

□ 会場案内図(3号館 2, 3階)



※当日、授業が行われている教室もございますので、廊下での会話はお控えいただきますようお願いいたします。



【バス時刻表】

行き: 八 八 関東学院循環
(金沢八景駅—関東学院正門)

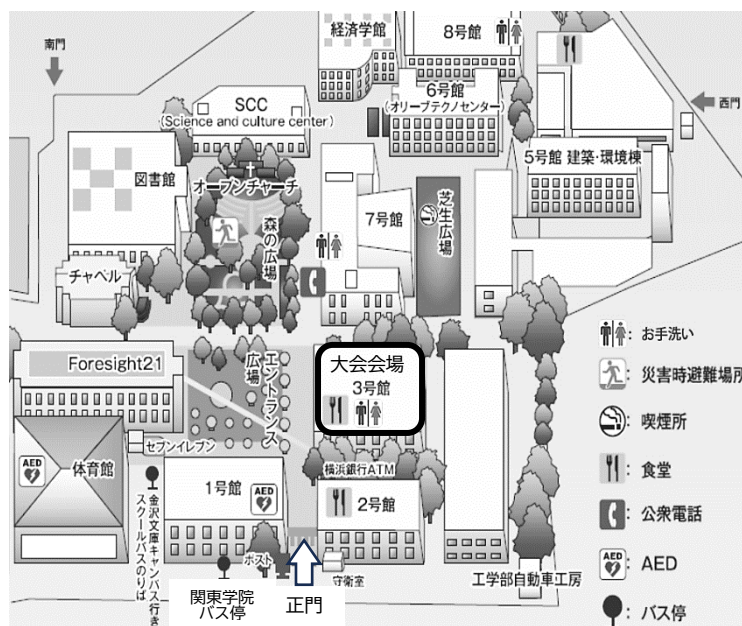
時	分	時	分
8	0 20 40	11	0 20 40
9	0 20 40	12	0 20 40
10	0 20 40	13	0 20 40

帰り: 4系統 磯子駅行
(内川橋—金沢八景)

時	分
17	2 22 42
18	2 21 41
19	1 21 41
20	1 21 40

金沢八景駅から関東学院大学金沢八景キャンパスまでは、徒歩約20分、バス約5分です。

関東学院正門から金沢八景駅までのバスは17:24で最終になりますので、お帰りにバスを利用する場合は内川橋バス停から磯子駅行に乗り、金沢八景で下車してください。



◇ 第1会場 教育実践・教育問題

3号館 2 階 202 教室

司会 樋口 直宏(筑波大学) 下田 好行(東洋大学)

- (1) 10:00 「学びの共同体」における「聴き合う関係」に関する研究
—授業場面における子ども同士のやり取りに着目して—
阿部 峻大(東洋大学大学院)
- (2) 10:25 小学校段階におけるジェンダーの授業実践の教育内容の傾向と課題
—国際ガイダンスの枠組みによる実践事例の「題材」の分析—
山川 葵(早稲田大学大学院)
- (3) 10:50 なぜ「普通」の学校生活を選んだのか
—不登校特例校卒業生に注目して—
田野倉 和子(一橋大学大学院)
- (4) 11:15 「登校拒否」「学校恐怖症」のジャーゴン化および、ジャーゴン化の意味
柴田 恵輔(早稲田大学大学院)

11:40~12:00 全体討論

◇ 第2会場 教育理論・教育哲学

3号館 3 階 302 教室

司会 関川 悦雄 青木 研作(東京成徳大学)

- (1) 10:00 キリスト教宣教師によるフレーベル幼児教育思想の受容
—遊び理論と神思想について—
轟 晶晶(早稲田大学大学院)
- (2) 10:25 ヴォルフガング・クラフキによる「教えのアート教授学」の受容を通した一般陶
治論の変容 —「時代に典型的な鍵的問題」と「時代を超越した人類的問題」
の関係に焦点化して—
田中 怜(筑波大学)
- (3) 10:50 「東大・京大」の魔力
—『思考の整理学』の宣伝工作と外山滋比古の読書論・読者論—
松井 健人(東洋大学)
- (4) 11:15 哲学の実践学としての教育学
—哲学と教育学の対話の可能性を考える—
増淵 幸男(上智大学名誉教授)

11:40~12:00 全体討論

司会 野口 穂高(早稲田大学) 遠藤 健治(日本大学)

- (1) 10:00 石川三四郎の大正自由教育に対する位置づけ
—『教育時論』の論考に焦点を当てて—

貞清 裕介(明星大学非常勤講師)

- (2) 10:25 女子英学塾の課外講演に関する一考察
—1900～1910 年代を中心に—

ママトクロヴァ ニルファル(早稲田大学非常勤講師)

- (3) 10:50 東洋大学の教育方針・内容の変遷に関する一考察
—創立から大学「昇格」までを中心に—

雨宮 和輝(早稲田大学非常勤講師)

11:15～11:35 全体討論

◆ 関東教育学会・日本教育学会関東地区(申請中)共催 公開シンポジウム

3号館 2 階 201 教室

第71回大会テーマ

教育における ICT 活用の可能性と課題

—公正で豊かな学びを実現するためには—

○ 企画の趣旨

政府は「Society 5.0」(サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会)の実現を旗印にして、IoT、ビックデータ、AI(人工知能)などの最新テクノロジーを活用して経済成長を実現し、社会的課題を解決することをめざしている。その線にそって教育の ICT 化が進められ、GIGA スクール構想がスタートした。そして教育の ICT 化のキーワードが「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない 公正 に個別最適化された学び」である。

そこでは、生徒は PC やタブレット端末を用い、一人一人の能力や適性に応じて AI が提供する学習プログラムに取り組むという学習形態が想定されている。個々の生徒の解答から AI が理解の程度や傾向等を解析し、個々の生徒にとって最適な出題をすることで「指導の個別化」と「学習の個性化」が可能になるという触れこみである。

しかしながら、AI によって最適化された学習は、それぞれの能力に即して個別化された学習プログラムであるため、学びが失敗した場合、ますます生徒の自己責任とされる傾向が強くなることが考えられる。すべての生徒が積極的な学習者になれるわけではない。とすれば、Society 5.0 型の学校からは、取りこぼされる生徒が少なからず生まれてくるものと考えられる。そうなれば教育の機会均等や生徒の学習権や成長発達権が損なわれる危険もある。また、教育の ICT 化が進めば、教育のイノベーションの名のもとに IT 産業や教育産業が学校教育に参入し、効率性や定量データだけを重視した学校運営に変

質し、公教育の解体つながる可能性も出てくる。そこで改めて問われてくるのが教育の公共性を保障する学校教育の仕組みである。

他方、小中学校における ICT の導入が急増したが、その一方でそれが学習の定着や意欲の喚起、学力の向上にどう影響しているかについてのデータは少ない。逆に学校での電子機器の使用時間が長いほど、とくに読解力の成績が下がるという研究もある。

社会のデジタル化が否応なく進む中、教育がその流れに取り残されるわけにはいかないのも事実である。それならば、さまざまな課題があることを前提に、いかに ICT を活用すれば公正で豊かな学びを実現するかを問い続けていくことが不可欠である。本シンポジウムでは、こうした問題意識をもとに、教育工学、教育哲学を専門とする研究者、学校現場において ICT を活用しつつ生徒との関係を築いてきた実践者、ICT を公の利益のために活用する改革を行っている行政官を迎え、みなさまとともに議論を行えばと考えている。

○ シンポジスト（五十音順）

砂原 由和（専修大学ネットワーク情報学部教授）

谷口 和也（東北大学大学院教育学研究科准教授）

牧内 義信（神奈川県立舞岡高等学校教諭）

松本 敏生（横須賀市経営企画部 ICT 戦略専門官）

○ 指定討論者

佐藤 幸也（関東学院大学理工学部教授）

○ 司会

大崎 裕子（関東学院大学教育学部講師）

川島書店



〒165-0026 東京都中野区新井 2-16-7 <https://kawashima-pb.kazekusa.jp/>
TEL 03-3388-5065 / FAX 03-5318-7146 / MAIL kawashima@kazekusa.jp

森部 英生 著

書き下ろし 教育学特別講義

2860 円

わが国の教育が辿ってきた道程に危機感をいだき、政策関連の文書、法令の条文、判決文等を用いて、丹念に記述した、渾身の書。
（評）スタンダードのテキストとして秀逸かつ独創的。

遠藤 克弥 著

家庭教育を再考する

1650 円

前著『いま家庭教育を考える』刊行から約三十年、その後の科学技術の急速な発展と私たちの暮らしの変容をふまえ、生涯学習の考え方を中心に、新たな社会に向けての家庭教育のあり方を再考する。

立川 明 著

『伊豆の踊子』を読む

3300 円

いまや危機的状況にある川端康成『伊豆の踊子』を救い出すべく、その教材としてのポテンシャルを分析と総合という方法を用い、この文学作品の価値は那邊にあるのか、新たな解釈を提示する。

花井 信 著

教育史の基点と対象

3300 円

教育史の成立する基点を、ヘーゲルの哲学を軸に、デュイ、スミスの思想を絡み合わせながら考え、その上で、近代日本の教員の教育活動の史的意義を再考する、総決算の著作。

早稲田教育ブックレット 28

大学入試、どう変わるか

—新学習指導要領×大学入学者選抜

●早稲田大学教育総合研究所 監修 定価1,210円

日本の高校・大学は、日々の授業で何をどう教え、試験で何をどう問えばよいのか。大学入試のあり方を再考し、展望する。

ユネスコ・教育を再考する

—グローバル時代の参照軸 定価2,200円

●日本教師教育学会第10期国際研究交流部・
百谷田真樹・矢野博之 編訳著/他訳著

"Rethinking Education"待望の翻訳。ユネスコの教育政策と実践の
基礎理論を読み解く。重要語句や概念群の解説を加え紹介。



批判的思考と道徳性を育む教室

—「論争問題」からひらく共生への対話

●ネル ノディングス・ローリー ブルックス 著
山辺恵理子 監訳/他訳

定価2,970円

答えの出ない問題をどう扱い子どもたちと考えるか。対話が育む共生の道。



教育課程編成論 改訂版

●森山賢一 編著

定価2,200円

教育課程の概念、歴史等、小・中・高等学校各々の編成の実態等を解説。

「令和の日本型」教育と教師 —新たな教師の学びを考える

●日本教師教育学会 編 定価1,100円

「令和の教師教育改革」に関する学習会・シンポジウムの内容をまとめたブックレット。

教員需給を考える —「教師不足」「ブラック言説」「教職の魅力」

●東京芸芸大学先端教育人材育成推進機構教員需給モデルプロジェクト 編著 定価2,200円

学校教育の現状、教師の労働環境、教員需給の問題に「冷静な議論」をもたらす。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

早稲田教育ブックレット 29

早稲田大学教育・総合科学学術院 オンライン授業の現在地

—学生による自由記述の分析から

●早稲田大学教育総合研究所 監修 定価1,100円

大学教育が学生と教員の双方向的な議論を通じた学びを重視する
現状を踏まえ、オンライン教育や大学教育の発展へのヒントを提供。

最新 よくわかる教育の基礎

●湯川次義・久保田英助・奥野武志 編著

定価2,530円

教職課程科目や教育学の基礎を学習する人のためのテキスト。
教育の原理の基礎を確実におさえ、「わかりやすさ」を重視。



現代アメリカ教員養成改革における 社会正義と省察

●高野貴大 著

定価5,280円

多文化社会アメリカの事例から社会正義を志向する教員養成を考える。



教師のための教育学シリーズ

特別活動 改訂二版

●教師のための教育学シリーズ編集委員会 監修

林尚示 編著

—総合的な学習(探究)の
時間とともに

定価2,530円

アクティブラーニングの実施も対応する「特別活動」の指導法のテキスト。

やさしく学ぶ教職課程 幼稚園・保育所・小学校の教育現場でのICTの活用、
教育方法とICTの活用について学ぶことのできるテキスト。

幼児と児童のための教育とICT活用

●末松加奈 編著

定価1,980円

教育の方法・技術とICT

●古賀毅・高橋優 編著

定価2,310円



幼児教育資料アーカイブシリーズ

幼児教育資料アーカイブ4【編集復刻版】

子供の教養

全10巻・別冊1

完結!

幼小接続資料集成

全7巻・別冊1

体裁ⅡA4判2面付・上製・総約4,800頁 編集・解説Ⅱ太田素子・
小玉亮子・福元真由美・浅井幸子・大西公恵 推薦Ⅱ汐見稔幸・無藤隆
別冊Ⅱ解説・総目次・索引 ※分売可
全3回配本 揃定価Ⅱ162,800円

戦後から2010年代にいたるまで、さまざまに試みられた幼児教育と小
学校教育との連携と実践の記録を、「幼小接続」という視点から初めて本格
的に集成。

戦前期愛育会関係資料集成

全11巻

体裁ⅡB5判2面付・上製・総5,698頁 編集・解説Ⅱ湯川嘉津美
推薦Ⅱ網野武博・矢野健夫 全4回配本 揃定価Ⅱ242,000円

関西連合保育会雑誌

全2巻

体裁Ⅱ全2巻・B5判・上製・総1,052頁 解説Ⅱ湯川嘉津美
揃定価Ⅱ39,600円

松野尾裕・見城悌治・落合功 編著

報徳思想とその展開

近世から近現代へ

10月
新刊!

体裁ⅡA5判・上製・約430頁 執筆Ⅱ早田旅人・坂井飛鳥・伴野文亮・伊故海貴則・
足立洋一郎・藤木達也・須田将司・飯森富夫・張永嬌 定価Ⅱ5,940円

尊徳以降の人びとは、「報徳思想」として彼の精神をどのように伝え、みずから実践
してきたのか? 本書は、「報徳思想」の全体像をとらえるため、12名の気鋭の研究
者が共同でつくりあげた「報徳思想・報徳運動研究」の「現在」である。

不二出版

〒112-0005 東京都文京区水道2-10-10
TEL03(5981)6704 FAX03(5981)6705
<http://www.fujishuppan.co.jp>

配本ごと分売可
目録・見本呈